



平成30年度環境研究総合推進費

研究成果 発表会

参加費
無料

環境研究総合推進費は、環境省が必要とする研究テーマ（行政ニーズ）を提示して公募を行い、広く産学官の研究機関の研究者から提案を募り、評価委員会及び分野毎の研究部会の審査を経て採決された課題を実施する、環境政策貢献型の競争的資金です。

平成29年度終了課題及び平成30年度実施課題の中から、「第四次循環型社会形成推進基本計画」に関連し、関心が高いと考えられるものを選び、化学工学会第84年会の協力を得て研究成果発表会を開催します。

研究成果の活用を検討されている自治体・企業の皆様、環境問題について研究を行っている研究者の皆様、環境研究総合推進費への応募をお考えの研究者の皆様など、幅広い方々のご来場を心よりお待ちしております。

日時：平成31年 **3月14日(木)**
10:00～15:35(開場9:45)

会場：芝浦工業大学 豊洲キャンパス
交流棟501教室(東京都江東区豊洲3-7-5)

定員：100名 先着順、事前申し込みをお願いします。
※化学工学会第84年会の参加登録がない場合でも参加可能です。

プログラム

10:00～10:05	開会挨拶
10:05～10:30	環境行政の最新動向 第四次循環型社会形成推進基本計画について
10:30～10:50	災害廃棄物処理の実効性・安全性・信頼性向上に向けた 政策・意識行動研究(3K163009) 京都大学大学院地球環境学堂 准教授 浅利 美鈴
10:50～11:10	新バイオ液体燃料製造プロセスの開発と その持続的・社会実装支援システムの構築(3K153014) 東北大学大学院工学研究科 教授 北川 尚美
11:10～11:30	電気共生型メタン生成を利用した有機性廃棄物の 高効率バイオガス化技術の開発(3K162002) 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門 主任研究員 加藤 創一郎
11:30～11:50	循環型社会政策の効果評価と導入支援のための 資源利用・廃棄物処理モデルの構築(1-1601) 国立研究開発法人 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター センター長 大迫 政浩
11:50～13:00	休憩
13:00～13:20	バライト共沈を用いた放射性核種の除去 および固定化に関する研究(1-1701) 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻 教授 高橋 嘉夫
13:20～13:40	放射性CsやSrで汚染された廃棄物の中間貯蔵と最終処分 のための安定化技術に関する研究(1-1702) 京都大学複合原子力科学研究所 准教授 福谷 哲
13:40～14:00	容器リサイクル樹脂を利用した WPC用表面処理木粉の開発(3J173002) トクラス株式会社 技術部 WPC開発室 室長 大峠 慎二
14:00～14:20	廃プラスチックの高付加価値化リサイクル技術創製 および実用化研究(3-1705) 福岡大学工学部 教授 八尾 滋
14:20～14:30	休憩
14:30～14:50	塩ビ被覆銅線から銅および塩ビを高度に回収する 新規塩ビ剥離技術の開発(3RF-1701) 東北大学大学院環境科学研究科 助教 熊谷 将吾
14:50～15:10	有機溶媒を用いない環境調和型の レアメタル高効率リサイクルシステムの開発(3-1710) 九州大学大学院工学研究院 主幹教授 後藤 雅宏
15:10～15:30	硝酸性窒素等の有害物を排出しない 白金族リサイクルプロセスの開発(3K163010) 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 環境管理研究部門 研究グループ長 成田 弘一
15:30～15:35	閉会挨拶

Profile

国立研究開発法人 国立環境研究所
資源循環・廃棄物研究センター
センター長

大迫 政浩 (おおさこ まさひろ)

1992年厚生省国立公衆衛生院研究官、省庁再編に伴い国立環境研究所に異動後、主任研究員、研究室長、企画部次長を経て2011年より現職。資源循環・廃棄物研究全般、近年は放射能汚染廃棄物研究にも従事。

福岡大学
工学部
教授

八尾 滋 (やお しげる)

1986年京都大学大学院工学研究科高分子化学博士後期課程修了。工学博士。宇部興産株式会社高分子基礎研究部部長、三菱総合研究所シニアリサーチプロフェッショナルを経て2011年より現職。機能構造マテリアル研究所長。専門は高分子物性、機能性材料。

京都大学
大学院地球環境学
准教授

浅利 美鈴 (あさり みすず)

ごみや環境教育が研究テーマ。災害や有害廃棄物、食品ロス、プラスチック、途上国支援、SDGsなどが最近の焦点。3R・低炭素社会検定やエコ〜など京大など、実践・啓発活動や情報発信にも力を注いでいる。

東京大学
大学院理学系研究科地球惑星科学専攻
教授

高橋 嘉夫 (たかはし よしお)

1992年東京大学理学部化学科卒。博士(理学)。広島大学助手、准教授、教授を経て、2014年より現職(地球惑星科学専攻)。専門は地球化学(分子地球化学)、環境化学、放射化学。

東北大学
大学院環境科学研究科
助教

熊谷 将吾 (くまがい しょうご)

2015年東北大学大学院環境科学研究科博士課程修了、博士(環境科学)取得、同年より現職。2018年よりJournal of Analytical and Applied PyrolysisのEditor就任。高分子廃棄物のリサイクル技術開発や高分子の熱分解・熱劣化反応解析を専門とする。

東北大学
大学院工学研究科
教授

北川 尚美 (きたかわ なおみ)

1994年東北大学大学院工学研究科博士課程後期修了、博士(工学)。同学反応化学研究所助手、工学研究科助手、准教授を経て2018年より現職。専門分野は化学工学、特に反応・分離プロセス開発に従事。

京都大学
複合原子力科学研究所
准教授

福谷 哲 (ふくたに さとし)

1993年京都大学工学部衛生工学科卒業。修士課程、旧日本原子力研究所(現JAEA)、京都大学工学研究科博士後期課程を経て京都大学原子炉実験所入所。2012年より現職。専門は環境衛生工学、放射性廃棄物工学。

九州大学
大学院工学研究科
主幹教授

後藤 雅宏 (ごとう まさひろ)

1989年九州大学工学研究科合成化学専攻博士課程修了。九州大学助教授を経て、2001年より同教授。専門は化学工学、特にイオン交換、溶媒抽出を利用したレアメタル分離に関する研究に従事。

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
生物プロセス研究部門
主任研究員

加藤 創一郎 (かとう そういちろう)

2006年東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了、博士(農学)。海洋バイオテクノロジー研究所・博士研究員、JST ERATO・博士研究員を経て、2012年より現職。専門は応用微生物学、環境微生物学。

トラス株式会社
技術部 WPC開発室
室長

大峠 慎二 (おおごえ しんじ)

1996年大阪大学工学部産業機械工学科を卒業、同年建築資材メーカーに入社。2015年にトラス株式会社に入社し、WPCやCNF複合材の研究開発に従事している。専門は押出成形加工、複合材料分野。

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
環境管理研究部門
研究グループ長

成田 弘一 (なりた ひろかず)

専門は湿式製錬、溶媒抽出、溶液錯体化学。現在はX線/中性子構造解析と計算化学的手法を中心とした金属イオンの二相間分離挙動解析及び白金族金属に対する新規抽出剤開発を進めている。

ACCESS

- 東京メトロ有楽町線「豊洲駅」1C
または3番出口から徒歩7分
- ゆりかもめ「豊洲駅」から徒歩9分
- JR京葉線「越中島駅」2番出口から徒歩15分

※羽田空港、成田空港から豊洲駅行きのリムジンバス有り

会 場: 芝浦工業大学 豊洲キャンパス
(東京都江東区豊洲3-7-5)

芝浦工業大学 豊洲キャンパス ウェブサイトより

<https://www.shibaura-it.ac.jp/access/toyosu.html>

参加申し込み先

https://krs.bz/erca/m/symposium_h30

■締め切り: 3月13日(水)

ただし、定員(100名)に達し次第、締め切ります。



●お問い合わせ
環境研究総合推進部

TEL 03-3237-6600 E-mail erca-suishinhi@erca.go.jp

URL <http://www.erca.go.jp/suishinhi/>